

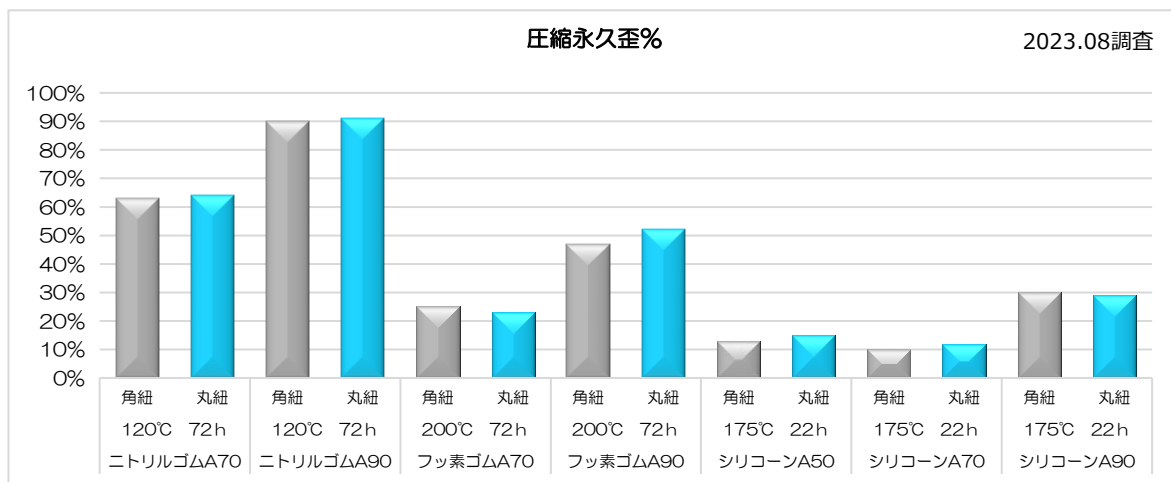
## 断面形状違いによる圧縮永久歪率の比較

前回の配信で、丸断面と比べて角断面は圧縮反力が約2倍になる事が分かりましたが、継続使用した場合におけるシール性の違いについては不明でした。

そこで今回は、断面形状によってシール性の寿命は違うのか確認を行いました。シール性の寿命の評価方法には、圧縮永久歪率試験というものがあります。

圧縮状態×高温環境で保持し、規定時間後にどれだけ歪みが残ったかを測定  
「角」断面と「丸」断面の測定値を比較

圧縮永久歪試験							
試料形状	1) 角断面 (角紐 2.4カク×40L) 2) 丸断面 (丸紐 2.4φ×40L)						
試験材料 硬度	ニトリルゴム A70	ニトリルゴム A90	フッ素ゴム A70	フッ素ゴム A90	シリコーン A50	シリコーン A70	シリコーン A90
試験条件	120℃		200℃		175℃		
試験時間	72h				22h		
圧縮率	25%						



圧縮永久歪試験では「角」断面と「丸」断面ではへたり具合に大きな差はなかった反力は大きく異なるものの、単純なシール寿命はあまり差がないことが想定される

実際の製品での試験や評価も弊社で対応致します。  
ご検討中のゴム関係の試験がございましたら、ぜひご相談下さい。